

# 校長メッセージ（4月）

水戸桜ノ牧高等学校常北校長 野内 俊明

<平成27年度入学式式辞から一部抜粋>

本日の入学式にあたり、心にとめてほしいことを3つ話します。その**第1は、「高校での学習は、受け身ではなく自分から求めるものである。」**ということです。皆さん一人一人が、本校で何を求めるのか、先生や親の指示を待っていたのでは、何も得られません。自分から求めなければ、「実現や充実」につながらないのです。

そこで皆さんには、まず夢や希望、あるいは目標をしっかり持つてほしいのです。そして、それに向けて地道に努力を継続してほしいと思っています。新入生の皆さん、本校で何を求めるのか、改めて自分の胸に問いかけてください。

**2つ目は、「人と人との関わり大切さを学んで欲しい」ということです。**人は一人では生きていけません。人の中にあって初めて人間としての役割が誕生します。人の中、社会の中で私たちはどのように生きていけばよいのか、常に問いかけてほしいと思います。

特にグローバル化が進展する現代では、国際社会に生きる新しい日本人が求められています。自分が生まれた国や地域に誇りを持ち、そして、自分の意見を堂々と述べることができる「コミュニケーション能力」を身に付けてください。

**3つ目です。「文武両道を心がけて欲しい」ということです。**これは、単に部活と勉強を両立させるだけでなく、部活・勉強、そして、学校行事に積極的に取り組み、身体と精神、両面でたくましく成長してほしいと考えます。

（玄関にて）

